

沖縄県青年海外協力隊を支援する会会報

第12号

〒901-2552 沖縄県浦添市前田1143-1
国際協力機構 沖縄国際センター内
tel 098-876-6000 fax 098-876-6014
沖縄県青年海外協力隊を支援する会
発行責任者：事務局長 東江賢次

はいむるぶし

(沖縄八重山地方の方言で南十字星の意 題字：故末次一郎氏)

沖縄県協力隊を支援する会

第十二回通常総会

開催される

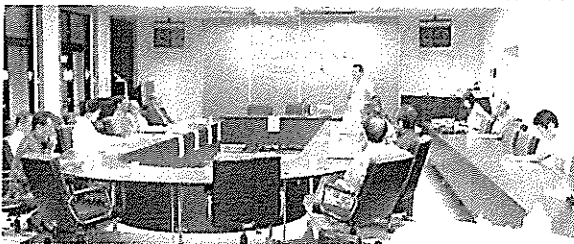
沖縄県青年海外協力隊を支援する会の第十二回通常総会が、七月十九日の夕方にJICA沖縄国際センター(浦添市内)で開催されました。

総会の議事に先立って帰国隊員活動報告を「養護」で平成十四年月から二年間スリランカで活動をしてきた松田秋乃さんが行いました。

報告の中で、派遣期間中にスマトラ沖地震による津波がスリランカの海岸部を襲い大きな被害が発生し、協力隊員らは自主的に救援活動を行ったことが紹介されました。

松田さんらが被災地に着いたところ、排水溝ががれきで埋まっていたために汚水が滞留し、悪臭を放っていました。手作業でそのがれきを取り除く作業を始めたところ、当初、被災者らは「外国人」のすることを物珍しそうにながめているだけでしたが、やがては協力隊員らの熱心な姿に心を動かされ、一緒にがれきを取り除く作業に参加してきたとのこと。

報告の最後で、任国に向けて沖縄を出発する時に協力隊を支援する会事務局長が「何か困ったことがあればいつでも手助けします。」と言っていたので、安心して活動ができたと言いました。



活動報告に引き続き議案審議の平成十七年度決算において、一月に開催された第十四回開発教育全国集会の助成金が見込みを大きく下回ったために、支援する会予算の「十周年記念事業費」を約六十万円超過して支出せざるをえなかったことが報告されました。

平成十八年度事業計画において「帰国隊員社会還元活動支援」が新たに盛り込まれました。これは、前年度に取り組んだ開発教育全国集会在、帰国隊員の社会還元活動の一環であったことから、事業計画に明文化したものです。今年度における具体的な活動としては、沖縄県青年海外協力協会(OB会)が「移民の日 ラテンフェスタ」や「ジンバブエ民族音楽公演」を計画しており、それらについて後援していくものです。

支援する会の通常総会に引き続き、第十四回開発教育全国集會実行委員会解散総会が開かれ、決算報告と実行委員会解散を決議し、約三年間に及んだ全国集會沖縄大会の取り組みに幕を降ろしました。

沖縄県青年海外協力隊を支援する会役員

(平成18、19年度)

Table with 3 columns: 役職名 (Position), 氏名 (Name), 所属・職名 (Affiliation/Title). Lists board members and staff including 顧問 (Advisors), 会長 (President), 副会長 (Vice President), 理事 (Board Members), 事務局長 (Executive Director), 運営委員 (Operational Committee Members), and 監事 (Supervisors).

(氏名は各役職ごとに五十音順で記載。)

# はいむるぶし



## 子供たちの未来のために

久保田照子

久保田照子インタビュー

2000年7月に開催されたG8沖縄サミットで来沖したアメリカのクリントン大統領は、摩文仁の平和祈念公園平和の前で演説をしました。炎天下で黒い上着を着て、汗だくになって。職場のテレビでそれを見ていた私は、大統領の顔からポタポタと落ちる汗が気になって、演説の中身が頭に入りませんでした。その摩文仁でクリントン大統領を見守る県民の中に一人の和服姿の爽やかな女性がひときわ目立っていました。琉球新報に「人 ピープル」、沖縄タイムスに「ひと 人」というコーナーがあります。いろんな団体のイベントがある場合に、新聞社にあいさつに来た者が紹介されるもの。そのコーナーに、摩文仁にいた和服姿の女性がよく登場します。毎回違った団体の名前で。

気になる和服姿の女性の正体は、沖縄県青年海外協力隊を支援する会理事の久保田チャームスクール院長 久保田照子さんです。今回、インタビューを試みました。

インタビュアー 協力隊を支援する会事務局長 東江賢次

Q チャームスクールって？  
「チャーム」は、魅力という意味があります。ですから、魅力的な女性を育てること、自分自身も女性として磨きをかけることを目的としてこのスクールを経営しております。

具体的には、行儀作法、生け花、

お茶、着付けですね。日舞もやっております。  
「礼」の基本は「真」「行」「草」を使い分けて相手に合わせることです。

Q 年中和服ですが、夏は暑くないですか？

皆さんそうおっしゃるんですが、それぞれの季節に適した素材がありますので、心配することはありません。涼しいですよ。

Q どんな団体の役員をしているの？

そうですね、主なものをあげると ①世界連邦運動沖縄県支部長  
②ベトナム友好協合理事 ③首里城下にチョウとばそう会副会長  
④沖縄トランポリン協会会長 ⑤日本善行会沖縄県支部副支部長  
⑥沖縄県現代美術館支援会Happ副理事長 などをしておりま  
す。前は、首里城復元期生会副会長もやっていました。

## チョウとトランポリン

Q 副会長をしている「首里城下にチョウとばそう会」  
が、食草植栽の作業をしてるけど、着物にするの？

私も悩みました。そこで、「もんぺ」を着ることで、解決できました。でも最近は面倒くさくなっちゃって、みんなと同じような作業着でやっています。そしたら、私の顔をジーンとのぞき込んでから「あー、久保田さんだ！」と驚く方が毎回いるんですよ。

Q どうしてチョウなの？

チョウがいるということは、自然環境が良いということです。ですから、沖縄の豊かな自然を次の世代に残していきたいということで、この活動をしています。沖縄をフラワーアイランドにしたい

## はいむるぶし

すね。

Q トランポリンというと、あのピョーンですよね？なんで会長なの？

(笑) 久保田が飛べるというのと、みんな、安心して飛べるでしょう？

子供たちにトランポリンを通して体を動かすことのすばらしさを伝えたいと思っていて。トランポリンは危険と思われるのですが、ちゃんとした指導者がいれば安全です。今、指導者養成に力を入れていますの。

スキーやバレーボールなど、すべてのスポーツの基本はトランポリンにあり、運動神経を養うのにとっても役に立ちますの。また、他のスポーツ1時間の運動量にトランポリンだと5分で相当します。

## 首里城大幕を送る運動

Q 世界各国の沖縄県人会から感謝状が贈呈されていますが、何をしましたの？

ハワイ移民一〇〇周年の時に沖縄からお芝居を持って行っただけです。その時に舞台に使う「首里城の大幕(首里城正殿が描かれた幕)」をハワイ県人会に贈呈したのです。

そしたら、それをペルー県人会の方が見て、ペルーにも欲しいとの話があり、そこにも贈呈しました。次はブラジル、アルゼンチン、アメリカなどから要請があり、それぞれの移民の節目の年に贈呈しました。これまで八枚を贈呈し、それに対して感謝状が贈られました。

Q 結構な値段だと思うのですが、資金はどのようになり？

ある画家にお願いして描いてもらっているのですが、一枚仕上げるのに三か月かかります。ですから、一〇〇万円ぐらいになります。

初めは、いくつかの企業にも協力をお願いしました。二枚目からは他の企業からも協賛の申込みがあったのですが、そしたら幕に名前を記入しなければならぬでしょう。幕が企業名だらけになるのは問題なので、今は、私と新聞社、首里城管理事務所で作っていますの。



## 地球の平和のために

Q こんなにたくさんの方々の団体に関わる理由は何？

関わっている団体には共通点があるんですよ。私の求めるものは、子供たちの未来のために、地球の平和です。そのためには、いろんなことをしなければならぬと思っています。ですから、平和につながる活動があれば、できる限りのお手伝いをさせていただいています。(了)

インタビューの途中で久保田さんに電話が入りました。話の内容は野球に関する事。聞くと、ある少年野球チームの顧問を務めているとのこと。8月に試合の引率で大阪に行き、ついでに少年野球のメンバーを甲子園の開会式、八重山商工高の練習見学にも案内したとか。見かけによらない。久保田さんのパワフルな活動に脱帽しました。

# はいむるぶし

## お帰いなさい！帰国ボランティア紹介



後列左から 仲本茂雄、我如古盛修、新垣 諭、小嶺賢司、渡久地直樹  
前列左から 宮里かりな、吉川彩子、中村貴子、下地由子

**仲本茂雄** 協力隊 タンザニア 理数  
科教師 2003.12～2年6か月間  
久米島町

村では初めて会う人でも親しく話しかけられ、厳しい生活環境の中でも心優しい人々だった。

**我如古盛修** 協力隊 バングラデ  
シュ ハンドボール 2004.7～2年  
間 那覇市

自分の生まれ育った沖縄がとてもすばらしい地域であったことが再認識させられた。

**宮里かりな** 協力隊 カンボジア  
音楽 2004.7～2年間 浦添市

カンボジアは多くの国から援助を受け、それが当たり前という雰囲気がある。カンボジア人自身が考えていけるような支援がいいのでは。

**新垣 諭** 協力隊 ガーナ 理数  
科教師 2004.7～2年間 沖縄市

ガーナの学校では、机や文房具も不足だが、勉強には意欲的であった。また、放課後は家の手伝いをよくしている。

**小嶺賢司** 協力隊 ケニア 理数科教師  
2004.7～2年間 北谷町

自分の固定観念の中から抜け出し、その国の人々、文化を認める心は、海外で生活、活動する場合に最も重要である。

**吉川彩子** 協力隊 ドミニカ共和国 小  
学校教諭 2004.7～2年間 那覇市

海外で技術援助に携わることによって、先進国日本を良くも悪くも認識できた気がする。

**中村貴子** 協力隊 ジャマイカ 小学  
校教諭 2004.7～2年間 宮古島市

ジャマイカで多くのかけがえのない体験ができたことは自分の財産。今後は沖縄の子供たちに、この経験を還元していきたい。

**下地由子** 協力隊 トンガ 理数科教師  
2004.7～2年間 八重瀬町

トンガでは中等教育からは、突然英語の教科書で授業が始まるため、つまり生徒も多い。日本のように母国語で学ぶことができるのは素晴らしいと感じた。

**渡久地直樹** 協力隊 バヌアツ 体育  
2004.7～2年間 宜野湾市

沖縄に帰って安心したのと同時に、現地を離れてさみしい気持ちが出ている。

## 行ってらっしゃい

### 出発ボランティア紹介



**運天里沙** 協力隊 マラウイ エイ  
ズ対策 2006.10～2年 豊見城市  
現地の人とともに喜怒哀楽しながら、エイズの予防啓発に取り組みたい。



**鹿糠説子** 協力隊 マラウイ 村落  
開発普及員 2006.10～2年 那  
覇市  
常に心から感謝できるようになりたい。

## ホンジュラスでエイサー

中米ホンジュラスのラ・セイバ市で行われたカーニバルで、同国で活動するJICA関係者六十三名がエイサーを披露しました。そしてみごとに、三賞のひとつである「振付賞」を獲得。  
エイサーの中心となったのは、沖縄県出身の協力隊員 前幸地和美さん。  
沖縄県協力隊を支援する会は、前幸地さんからの要請により、不足分のパーランクート黒糖を送り、激励しました。  
「異国の地で、故郷の文化を学び直し、あらためて沖縄を意識させられたことに不思議な思いを抱きました。」と、前幸地さんからお礼の手紙が当会に届きました。